

2017 年 IEEE 東京支部 総会資料

2017 年 3 月 29 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

(総会 第3号議案)

◆現金残高について	予算	決算	
2015年度からの繰越金 実際の現金残高	20,446,700	20,446,700	
2015年末払金	-	-	
2015年末収金	-	-	
2015年度からの繰越金 未払控除・未収算入後	20,446,700	20,446,700	
2016年度 収入-支出	-1,047,545	69,792	前頁の最終行
旧東京支部預り金の移動 (東京支部⇒JC)	-13,993,281	-13,993,310	利息分29円増
2017年への繰越金 (活動基準)	5,405,874	6,523,182	(※2) 最終行と一致
(内訳) (※1) 普通預金+小口現金+CB	5,405,874	6,523,182	
(内訳) 旧東京支部預り金 (定期)	0	0	

(※1) 3,000,000円以上を半年分の運用資金とする

(報告) 2016年12月末日 現金残高	9,305,054	
普通預金	9,171,969	
小口現金	20,000	
CB	113,085	
定期預金 (旧東京支部預り金)	0	
当年未払 理事会各委員会費	-35,539	
当年未払 SB Rebate	-50,562	
当年未払 事務局費東京支部負担分等	-2,695,771	
当年未収	0	
未払控除・未収算入後	6,523,182	(※2) = 2017年への繰越金 (活動基準)

2016年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

※本部報告および監査基準による

科 目	2016年12月31日	2015年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	9,171,969	6,253,735
○定期預金	-	13,993,281
○CB預金	113,085	179,684
◇現金・預金合計	9,305,054	20,446,700
◇その他流動資産	-	-
流動資産合計:	9,305,054	20,446,700
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計:	145,600	145,600
資産合計:	9,450,654	20,592,300
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
※1	2,781,872	-
2. 固定負債		
	-	-
負債合計:	2,781,872	-
3. 正味財産		
	6,668,782	20,592,300
負債および正味財産合計:	9,450,654	20,592,300
Statement of Activities		
I. 収益の部		
1.30) 外部からの支援金	-	90,000 (MAW)
2.10) 会議等参加費	12,000	60,000
2.90) 会議等参加費(イベント)	-	384,000 (MAW)
3.10) 本部からのRebate受取		
-1 支部Rebate	3,130,125	3,632,863
-2 YP Rebate	22,614	26,484
-3 LMAG Rebate	22,614	35,512
-4 SB Rebate	50,562	121,825
-5 Chapter Rebate	597,725	452,027
3.20) 本部からのFund受取		
-1 LMAG Fund	102,789	-
-2 YP Fund	157,547	104,731
3.30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,743,978	1,659,543
3.32) その他本部からの受取	172,800 (監査費用サポート)	1,239,694 (監査・MAWサポート・立替等)
3.34) 本部からのSection Assessment 受取	15,244,324	16,595,426
3.40/3.45) 受取利息	8,546	8,819
3.70) その他受取 (Milestone銘板代立替分)	-	2,455,252
2015年期首CB算入金		307,456
収益合計:	22,265,624	27,173,632
II. 費用の部		
4.10) 会合費	1,035,663	945,813
4.80) Student Branch支援費	812,638	848,339
4.90) -1 LMAG/YP活動費	437,001	406,082
-2 R10 SYWC参加支援	460,173	467,948
-3 Milestone銘板代立替	-	2,455,252
-4 MAW関連支出	-	1,057,369
-5 その他活動費	-	605,898
5.10) 事務所賃借料	560,393	-
5.30) 給料諸給	1,838,240	-
5.50) -1 Councilへの拠出金	15,241,324	16,592,426
-2 Chapter Rebate支払	597,725	446,539
5.54) MGA Board費用立替	-	772,940
5.60) 事務局費および一般管理費	1,212,675	1,466,231
JC(旧東京支部)預かり金移動	13,993,310	
費用合計:	36,189,142	26,064,837
正味財産増減額	-13,923,518	1,108,795
期首正味財産	20,592,300	19,483,505
期末正味財産	6,668,782	20,592,300

(総会 第3号議案)

科 目	2016年12月31日	2015年12月31日
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
1. 30) 外部からの支援金	-	90,000 (MAW)
2. 10) 会議等参加費	12,000	60,000
2. 90) 会議等参加費(イベント)	-	384,000 (MAW)
3. 10) 本部からのRebate受取	3,823,640	4,268,711
3. 20) 本部からのFund受取	260,336	104,731
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,743,978	1,659,543
3. 32) その他本部からの受取	172,800	1,239,694
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	15,244,324	16,595,426
3. 40/3. 45) 受取利息	8,546	8,819
3. 70) その他受取 (Milestone銘板代立替分)	-	2,455,252
2015年期首CB算入金	-	307,456
収入合計 :	22,265,624	27,173,632
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	1,000,124	945,813
4. 80) Student Branch支援費	762,076	848,339
4. 90) その他活動費	897,174	4,992,549
5. 10) 事務所賃借料	-	-
5. 30) 給料諸給	-	-
5. 50) 支部およびChapter支援	15,839,049	17,038,965
5. 54) MGA Board費用立替	-	772,940
5. 60) 事務局費および一般管理費	915,537	1,466,231
JC(旧東京支部)預かり金移動	13,993,310	-
支出合計 :	33,407,270	26,064,837
現金・預金増減額	-11,141,646	1,108,795
期首現金・預金残高	20,446,700	19,337,905
期末現金・預金残高	9,305,054	20,446,700

※1) 2016年度 未払 理事会各委員会費・SB Rebate・事務局費 (Japan Council立替分)

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2016.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

Except as discussed in the following paragraph, we conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

We were unable to obtain sufficient appropriate evidence supporting TOKYO GOLD and Reserve Allocation Payable stated at JPY 172,236 and JPY3,277,505 at December 31, 2016, respectively, or its Reserve Allocation Expense of JPY 305,388; nor were we able to satisfy ourselves as to the carrying amount of the bank account and the payable by other auditing procedures.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2016 or the result of its operation or cash flow for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion, except for the effects of such adjustments, if any, as might have been determined to be necessary had we been able to examine evidence regarding the bank account and the payable, the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2016 has been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

Mori & Co.

Mori & Co.

February 17, 2017

2017年 東京支部活動計画

1. 財政運営

4年前の円高に対応し、2013-14年執行部により効果的な財政的な運用が行われた。その後の円安もあり、2016年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。また2016年よりJapan Councilおよび東京支部事務局費の負担を明確に切り分けたことにより、Japan Councilには他支部同様に必要な支援を求める。2017年では、会員獲得、会員継続に繋がる活性化施策を増やすなど、より積極的な運営をこころがける。

2. 東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

2014年より着手していた施策である従来Japan Councilに所属していた各Chapterを適切な支部に所属させる移行手続きは、本部への申請が2016年度に全て完了、数件の本部承認を待つのみとなった。Chapterの移行支援を行っていた東京支部 Chapter Promotion Committeeは2016年よりChapter Operations Committeeと改めた。東京支部所管のChapterに関するMOU締結審議等の運営支援を継続して行う。

3. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としてのIEEE活動の活性化に積極的に協力する。

4. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002年10月に調印を行ったボストン支部、2006年6月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本のIEEEの学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

5. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催したMAW2015に続き、2016では関西支部主催でMAW2016が開催され、東京支部からも参加者を出した。引き続き2017年には名古屋にてMAW2017開催が決定しているため参加者を出し成功に向け支援を行う。

6. 委員会活動

6-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、

中央大学、東京農工大、電気通信大学の 12 校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学があり(全国合計 29 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

6-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化に努め、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、IEEE の全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

6-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

6-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG(Life Members Affinity Group)、YP(Young Professionals)ほか各グループとの共催を積極的に推進する。また、Web 配信など新しい工夫を試みる。

6-5. 会員への情報提供

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

6-6. History Committee

2014年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

2017年 Japan Council History Committee が主催する Histelcon2017(国際歴史シンポジウム)開催にむけた支援を検討する。

6-7. 若手会員および Life 会員向け活動の活性化

2010年10月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また 2008年11月に設立された Tokyo Young Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらに LMAG、YP に加え、Student Branch・Japan Council Women in Engineering との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

7. 本部および Region 10 との連携強化

3月に千葉(日本)にて開催される R10 Meet 2017 および R10 設立 50 周年/旧東京支部 60 周年記念イベント開催に協力する。

8月にシドニー(オーストラリア)で開催される IEEE Section Congress への参加支援を行う。

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

8. その他

2017年3月3日(金)、千葉工業大学新習志野キャンパスにて旧東京支部 60 周年記念イベントと、R10 50 周年記念イベントを合わせて開催予定。

9. 2017 年理事会/総会開催日程

第1回理事会/総会:	3月29日(水)	機械振興会館
第2回理事会	6月16日(金)	UDX(秋葉原)
第3回理事会	9月29日(金)	UDX(秋葉原)
第4回理事会	12月22日(金)	UDX(秋葉原)

以上

(総会 第5号議案)

IEEE 東京支部 2017年予算

単位 : JPY

想定レート : US\$1 = ¥ 102- (2016/11/15現在 為替レート ¥ 107-5)

【収入の部】	2017年予算	2016年決算	備考
1.30 Meetings&Social Events	-	-	
2.10 Meetings&Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	-	12,000	
2.90 Meetings&Social Events	-	-	
3.10 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,106,104	3,130,125	前年度実績 \$30,451.65-
YP Rebate	22,440	22,614	前年度実績 \$220-
LMAG Rebate	22,440	22,614	前年度実績 \$220-
SB Rebate	-	50,562	2017年未定
Chapter Rebate	998,070	597,725	前年度実績 JC \$ 3,970+Tokyo \$5,815 = \$ 9,785
3.20 Region Receipts LMAG FUND	102,000	102,789	1,000US\$想定
YP FUND	51,000	157,547	前年度実績 \$ 1,540- (Award含む) 2017年\$500予測
3.30 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	1,414,628	2,743,978	=SA の10%
3.32 Receipts from MGA 監査費用サポート	172,800	172,800	=支出と相殺
本部からのサポート	-	-	
3.34 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,146,278	15,244,324	前年度実績 \$138,689
3.40 Interest (CB)	5,000	6,060	
3.45 Interest (CB以外)	3,000	2,486	
3.70 Other (Milestone銘板代立替)	-	-	
収入合計	20,043,760	22,265,624	

【支出の部】	2017年予算	2016年決算	備考
4.10 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	50,000	203,219	
その他会費	50,000	54,325	マイルストーン打合せ等
総会運営費用	550,000	539,514	
講演会開催費用	200,000	238,605	
4.80 Student Activities SB支援費	700,000	658,053	SBLTW旅費はJCより分配
SB Rebate&Fund支払い	-	154,585	=本部からのRebate Fund受取分 (未定)
4.90 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	150,000	-	LMAG Fund請求予定 (収入の部参照)
YP 支援費	205,000	256,091	
YP Rebate & Fund支払い	73,440	180,910	=本部からのRebate Fund受取分(Fund未定)
5.50 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	14,146,278	15,241,324	=SA
Chapter Rebate 支払い	998,070	597,725	=本部からのRebate受取分
事務局費 計	2,721,800	3,073,468	
事務局費1 (JC/東京支部共通費用のうち東京支部負担分: 20%)	2,264,000	2,593,778	
事務局費2 (共通サーバ運営費のうち東京支部負担分: 25%)	115,000	101,993	
事務局費3 (東京支部)	342,800	377,697	
予備費 5.60 東京支部 WEBサーバ移行費用	-	537,840	
- その他予備費	978,942	460,173	Section Congressシドニー・Histelcon神戸・MAW名古屋
支出合計	20,823,530	22,195,832	

収入-支出	-779,770	69,792	
-------	-----------------	---------------	--

前年度からの繰越金	6,523,182	20,446,700	
(内訳) 普通預金+小口現金+CB	6,523,182	6,453,419	
(内訳) 旧東京支部預り金 (JC)	-	13,993,281	
旧東京支部預り金の移動 (JCへ)		-13,993,310	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	5,743,412	6,523,182	

(※) 3,000,000円以上を半年分の運用資金とする

2017年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	日高 秀人 Hideto Hidaka	ルネサス エレクトロニクス	<i>for leadership in high-density memory technologies for automotive applications</i>
2	東京	鹿子嶋 憲一 Kenichi Kagoshima	茨城大学	<i>for contributions to antennas for satellite communication and mobile wireless access systems</i>
3	東京	笠原 博徳 Hironori Kasahara	早稲田大学	<i>for contributions to multicore architectures and power reducing parallelizing compilers</i>
4	東京	小林 隆夫 Takao Kobayashi	東京工業大学	<i>for contributions to expressive speech synthesis based on a statistical parametric approach</i>
5	東京	中村 淳一 Junichi Nakamura	ブリルニクス	<i>for leadership in CMOS image sensors</i>
6	東京	並木 周 Shu Namiki	産業技術総合研究所	<i>for contributions to optical amplification</i>
7	東京	清水 敏久 Toshihisa Shimizu	首都大学東京	<i>for development of reliable power converters for industrial and renewable energy applications</i>

2017年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	名古屋	林 正人 Masahito Hayashi	名古屋大学	<i>for contributions to Shannon theory, information-theoretic security, and quantum information theory</i>
2	名古屋	平田 晃正 Akimasa Hirata	名古屋工業大学	<i>for contributions to safety assessment and standardization of human exposure to electromagnetic fields</i>
3	名古屋	伊東 健治 Kenji Itoh	金沢工業大学	<i>for contributions to microwave harmonic mixers and applications to mobile terminal devices</i>
4	関西	河原 達也 Tatsuya Kawahara	京都大学	<i>for contributions to speech recognition and understanding</i>
5	仙台	仁田山 晃寛 Akihiro Nitayama	東北大学	<i>for leadership in 3-dimensional NAND Flash memory technology development</i>

2017年 IEEE Medal/Award 日本からの受賞者

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE DONALD O. PEDERSON AWARD IN SOLID-STATE CIRCUITS	西谷 隆夫 首都大学東京	<i>For pioneering real-time programmable digital signal processor architectures</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Operations
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29th March 2016.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org